

(1) 特別課題研究

デジタルデータを活用した窯業製品の開発(2/2)		NO. 9
海外観光客向け土産物製品の開発(1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	寺井 剛
研究の概要	研究の内容	日本有数の観光資源を有する中部北陸9県（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、石川、富山、福井、滋賀）が官民一体となって外国人観光客誘致を推進するプロジェクト「昇龍道」。この「昇龍道」に関連する各地の名品等のパッケージや置物などの窯業製品のデザイン及び試作を実施する。
	研究の目標	今後、更に増えることが期待されるアジア系観光客の定番商品となることを目指して「昇龍道」プロジェクトに使ってもらえる瀬戸窯業製品の「昇龍道」関連商品を開発する。
	備考	[県] あいち産業科学技術総合センター管理運営事業費

(2) 経常研究

蓄光レース磁器製造手法の開発(1/1)		NO. 21
蓄光レース磁器製造手法の開発(1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	倉地 辰幸
研究の概要	蓄光レース磁器を作るための蓄光泥漿は、800℃前後の焼成が望ましく、ベースの磁器素地とは異なる特性が求められる。レース磁器泥漿には通常糊成分として水飴や水ガラスを添加するが、蓄光性に悪影響を発生させる。このため、新たな蓄光レース磁器用の泥漿を開発し、蓄光レース磁器製造プロセスを確立する。	

バインダー効果を応用した新規ニアネットシェイプ成形の開発(1/1)		NO. 22
バインダー効果を応用した新規ニアネットシェイプ成形の開発(1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	内田 貴光
研究の概要	これまでのCIP成形はニアネットシェイプが可能となるが、単純な形状にしか対応できず、後加工を必要とする。また、ファインセラミックスのプレス成形は一軸加圧成形のため成形体に密度差ができ、焼成後の寸法精度は出しにくい。そこで本研究ではバインダーを用い、微弱加圧、または無加圧条件で成形を行うことにより、ハンドリングに耐えられる成形体を製造し、これにCIP成形を行うことで複雑形状のニアネットシェイプを達成させる新規成形法の開発を目指す。	